

事業報告

7/28 うと寄席

林家たい平独演会

熊本県立劇場ネットワーク事業を共催で実施。「笑点」でおなじみの林家たい平と弟子の林家あずみ(三味線漫談)、林家さく平(落語)が出演。上半期のインフォメーションを広報うと6月号に挟み込んだ効果もあり、例年になく早い段階からチケットの売れ行きが伸びました。指定席2,500円と併せてベア席4,000円とした設定も割安感があったようで、2枚購入される方が多く、チケットはほぼ完売。お客様の満足度も高い公演でした。



「猫の災難」「長短」を演じる林家たい平師匠

- 寄席は初めてだったけど、とても楽しかったです。久しぶりに笑いました。想像を動かせるのめり込みじゃった。酒好きの私にとったらたまらんかったです。(50代・県内他市町村)
- 毎年笑点メンバーを呼んで頂きありがとうございます。落語好きになったのは宇土で開催してくれるからありがたく思っています。毎年続いたら嬉しいです(50代・宇土市)



三味線漫談家のあずみさん

9/4 本物の舞台芸術鑑賞事業 カルテット・スピリタス サクソフォン四重奏



鶴城中の佐佐木先生も共演

「本物の舞台芸術鑑賞事業」として、今年度も市内全中学校(鶴城中・住吉中・網田中・県立宇土中)3年生を招待して公演を開催しました。また、3階席をワンコイン(500円)コンサートとして一般の席を設けました。出演は結成20周年を迎えたサクソフォン四重奏集団「カルテット・スピリタス」で、クラシックから映画音楽まで幅広いレパートリーの演奏を披露しました。特に「音楽レストラン」のコーナーでは料理を音楽に見立て、四重奏の仕組みを楽しく且つ分かりやすく説明。中学生の反応も良く、演奏が進むにつれ前のめりに演奏を聴いていました。共演者として鶴城中教諭の佐佐木綾音先生が登場し、会場は大いに盛り上がりました。

- カルテットの世界!!身も心も満たされました。楽しく、美しく…。紙芝居も登場し、とても楽しめました。ありがとうございました。中3の子ども達も喜んでいました。音楽担当の先生も演奏されて素晴らしかったです。(70歳以上・宇土市)
- 演出も素晴らしく、お話しも楽しく、2時間たっぷり楽しませていただきました!!500円でラッキーでした。ありがとうございます。(40代・宇土市)



「桃太郎」の楽しい音楽劇

11/16 公共ホール音楽活性化事業(通称名:おんかつ) 閑喜 弦介ギターリサイタル



バツハから始まった大ホールでの公演

「おんかつ」とは(一財)地域創造のコンテストで選ばれた登録アーティストと公共ホールをつなぎ育成・活性化を兼ねている助成事業。閑喜弦介(かんきげんすけ)さんはフランスから帰国し2年目、NHK大河ドラマ「光る君へ」の挿入曲やCMなどの作曲・編曲・演奏で「ギター界の新星」として注目を浴びている29歳のギタリスト。

14・15日は、アクティビティとして、ボランティア団体を対象に、走潟・宇土市役所・花園・長浜の4か所でミニコンサートを開催。大ホールでのコンサートには市外からも多数来場。クラシックギターでクラシック、ビートルズ、ジャズナンバー、オリジナル曲など編曲を交えながら演奏。繊細でオリジナルティあふれる美しいギターの音色を披露しました。

- 長すぎない時間、演奏者のトーク、演奏技術力、ギターの音色に癒やされました。「上を向いて歩こう」泣きました。(50代・熊本市)
- 演奏内容とその間のMCが良かった。演奏者のギターの音色の軽快さと透明感に感動した。話し方も正直さと暖かい人柄がにじんできてこれまでの演奏者に見られない人間性を感じた。(70歳以上・宇土市)



走潟でのアクティビティ

11/24 第9回 地域伝統芸能祭

地域に根付く伝統・伝承芸能の持つ、普遍的なエネルギーと魅力を広く知ってもらう機会として、また継承団体にとってハレの場「地域伝統芸能の祭典」として、第9回目の開催。「宇土御獅子舞」「宇土雨乞い大太鼓」「松山花棒踊り」、「植柳盆踊り保存会(八代市)」、「山鹿灯笼踊り保存会(山鹿市)」「栖本鼓踊り保存会(天草市)」が出演し、各団体の熱演で客席と舞台とが一体となって盛り上がるまさに「祭空間」となりました。



植柳盆踊りでは他の出演者・会場からも飛び入り参加

松山花棒踊りは、熊本県子ども芸術祭をきっかけに地域の子どものための継承活動を再開され、小学生5名が新規会員として舞台に立ちました。また、宇土雨乞い大太鼓は秋に開催された熊本県芸術文化祭オープニングステージにおいて一流の演奏者との共演により技術面・精神面ともに鍛えられ、一段とレベルアップした演奏を披露しました。

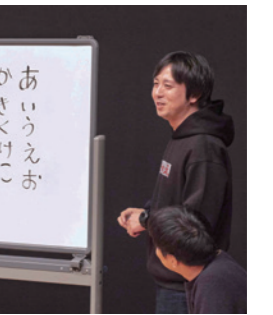
- 伝統芸能に興味がありながらも知らないことが多く、このような機会に於いて各地の芸能の意味も知れて良かった。又、子供に受け継ぐために学校と地域が取り組んでいることを聞いて嬉しい気持ちになりました。(30代・宇土市)
- 植柳盆踊りを会場の皆さんで踊るなど舞台や会場と一緒に楽しめる時間が思いがけず心に残りました。司会のお話もわかりやすかったです。(60代・宇城市)



激しい動きの栖本鼓踊り

1/22・23 リージョナルシアター事業

網田中学校生徒、住吉中学校生徒、鶴城中学校教員、一般の方へワークショップを行いました。リージョナルシアター事業は演劇的手法を用いてコミュニケーション能力、発想力の向上等を目的としたものです。



講師の田上豊さん
住吉・網田中学校では普段触れ合う事のない大人たちに最初は戸惑いながらも、ワークショップが進んでいく内にだんだん笑顔が見られました。真剣に話を聞く様子や、楽しそうな表情に我々も嬉しくなりました。



舞台上でのワークショップの様子

先生からは、「普段見ることの無い生き生きとした生徒の様子に驚いた。生徒の内に秘めた部分を引き出してもらった。」と感想をもらいました。公募ワークショップには6名の参加者が集まりました。講師・アシスタントの自己紹介に始まり、なぜ演劇に携わっているのかなどのお話を聴く際は、真剣な表情でうなずく様子がかえりました。簡単な発声練習や台本を読んで動いてみるなど、演劇の楽しさに触れた参加者からは、「また開催してほしい」との声をいただきました。

通年 飛び出す市民会館 「アウトリーチ」

令和6年度のアウトリーチ事業は市内5つの小学校を対象に、のべ13回のアクティビティを実施しました。学校アウトリーチとは、芸術鑑賞会ではなくアーティストがおこ

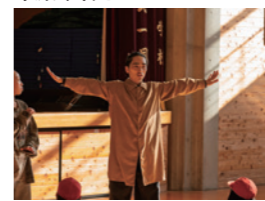


清原晏さん



木原朱音さん

なう「出前授業」。プロの表現に自然と子どもたちは惹きつけられ、キラキラ輝く目で授業を体験していました。普段の授業とは違った子どもたちの反応に、先生方の満足度も高く、アンケートでは「毎年実施してほしい」との声が多く寄せられました。



葉山悠介さん

宇土市民会館のアウトリーチプログラムは県立劇場との連携や、クラシック・邦楽・ダンス・演劇など、多彩なジャンルのアーティストと協働してプログラム作りをおこなっています。令和7年度は小中学校だけでなく、市内福祉施設等での開催を予定しています。



大迫旭洋さん

<派遣アーティスト>

- 木原 朱音(トランペット、熊本県立劇場登録アーティスト)
- 清原 晏(箏・三味線・宮城胡弓)
- ころらあと(ピアノ・ニューフォニアム)
- 葉山 悠介(ダンサー・振付家)
- 大迫 旭洋(劇作家・演出家・役者)
- 森 尚子(コレペティトゥア)